世界遺産登録
25周年記念

入江泰吉

約70年前の
古都奈良の貌（かお）

The 25th Anniversary of the World Heritage Registration Ancient Capital

-Scenery of Nara from the late
1940s to the early 1960s

by IRIE TAIKICHI

2023
12.2[土]
▶
2024
1.28[日]

入江泰吉記念
奈良市写真美術館

〒630-8301 奈良市高畑町600-1
TEL 0742-22-9811　FAX 0742-22-9722
https://naracmp.jp

[主催]奈良市、
入江泰吉記念奈良市写真美術館
(一般財団法人奈良市総合財団)

「雪の大仏殿」1950年代

[開館時間] 9:30−17:00(入館は16:30まで)
[休 館 日] 月曜日、年末年始 12/25(月)～1/3(水)、1/8(月・祝)は開館、翌1/9(火)休
[観 覧 料] 一般500円／高校・大学生200円／小・中学生100円
団体(20名以上)2割引／毎週土曜日、小・中・高校生無料
障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方無料
奈良市在住の70歳以上の方無料
[作品解説] 毎月第2・第4土曜日 14:00～

Irie Taikichi Memorial Nara City Museum of Photography

#oldnewnara

25th
古都奈良の文化財
世界遺産登録

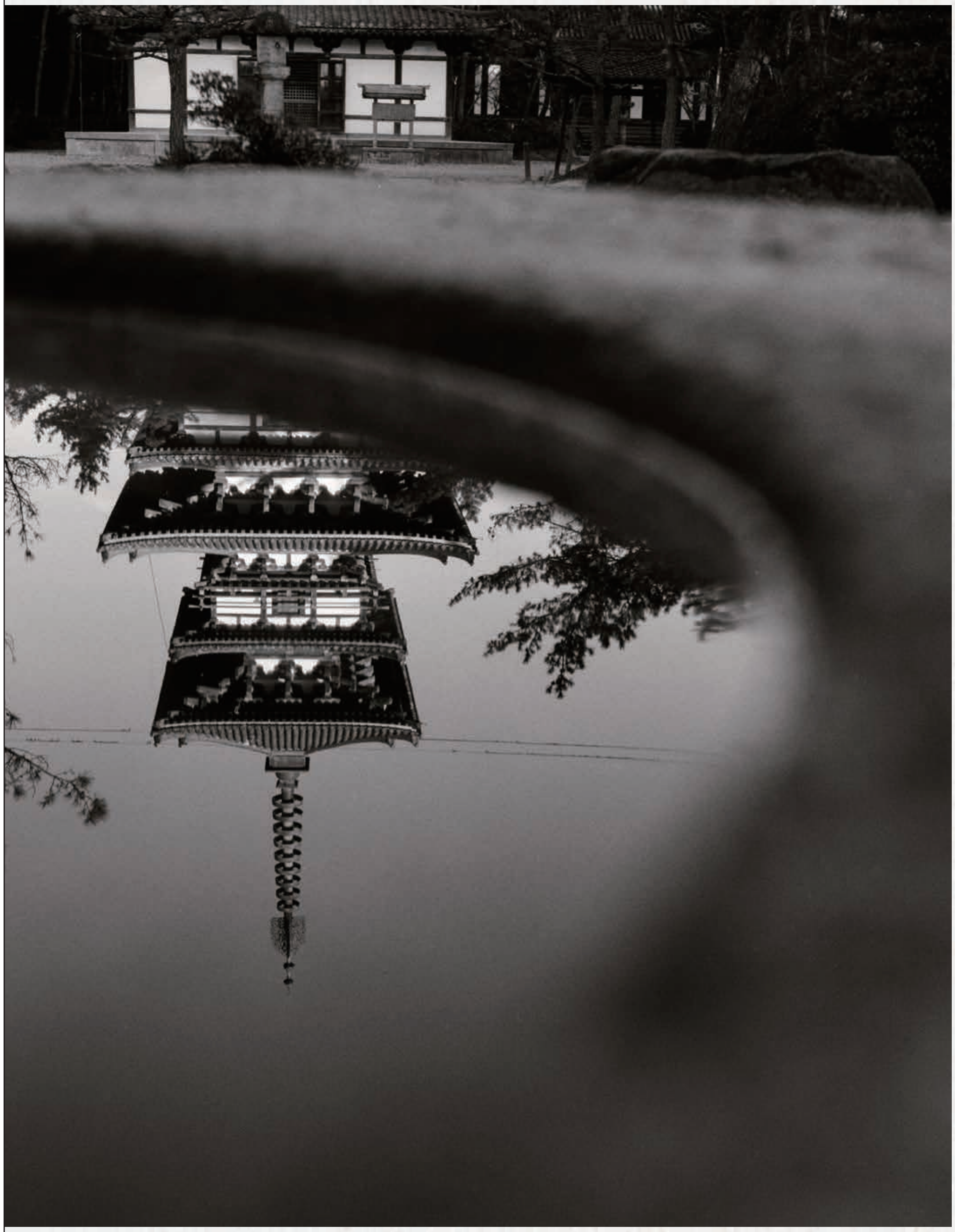
The 25th Anniversary of the World Heritage Registration Ancient Capital
-Scenery of Nara from the late 1940s to the early 1960s

世界遺産登録25周年記念

25th
古都奈良の文化財
世界遺産登録

入江泰吉
「約70年前の古都奈良の貌（かお）」

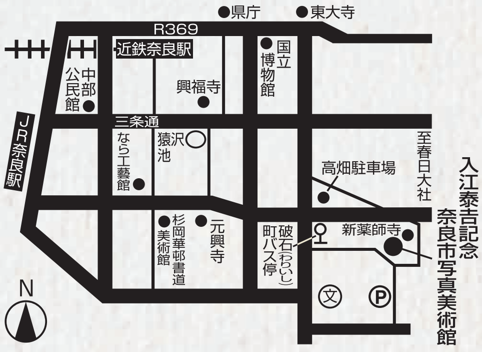
一九九八年十二月、ユネスコの世界文化遺産に、東大寺、興福寺、春日大社、元興寺、薬師寺、唐招提寺と、特別史跡・特別天然記念物に指定されている平城宮跡、春日山原始林を含む八つの資産群が「古都奈良の文化財」として登録されました。本年は、世界遺産に登録されて二十五周年を迎え、これを機に、あらためて奈良市の世界遺産を約七十年前に撮られた入江泰吉の作品で振り返ります。終戦後から一九六〇年代前半までに撮られたモノクロ作品ですが、この頃は戦後の混沌とした時期を経て高度経済成長をとげる頃と重なり、日本が大きく変わった時代でもありました。そうした時代が揺れ動くなか、入江は奈良の風物と向き合い、今に残る歴史美をとらえようと撮影してきたのです。世界に誇れる古都奈良の文化財の約七十年前の姿をご覧ください。


「薬師寺東塔」1950年代

「東大寺大仏殿前八角燈籠」1953年頃

「平城宮址」1959年9月

「薬師寺東塔遠望」1950年代



アクセス

■JR・近鉄奈良駅から奈良交通市内循環バスで「破石町（わりいしちょう）」下車、東へ徒歩約10分、新薬師寺西隣

■大阪難波駅から快速急行約35分、近鉄京都駅から急行約50分、近鉄名古屋駅から特急約2時間30分（大和八木駅・大和西大寺駅乗換）

■駐車場あり（1時間まで無料）

1	第2次奈良市文化振興計画	市民の文化に対する意識の高揚
2	第2次奈良市文化振興計画	芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充
3	第2次奈良市文化振興計画	地域の文化財の保存及び活用
4	第2次奈良市文化振興計画	伝統文化の保存、普及及び継承
7	第2次奈良市文化振興計画	学校教育における文化活動の支援
8	第2次奈良市文化振興計画	子どもたちの情操を高める文化環境の整備
9	第2次奈良市文化振興計画	文化に係る交流の促進
10	第2次奈良市文化振興計画	文化の振興のための学術研究の拠点作り
15	第2次奈良市文化振興計画	文化活動における情報通信技術の活用の促進
16	第2次奈良市文化振興計画	文化の振興に関し功績のあったものの顕彰

同時開催 奈良市写真美術館特別展

加速するヴィジョン
ま^{3}展

現代作家 SHIMURAbrosと写真家 藤岡亜弥が
奈良でのレジデンスにより制作した作品を展示

Fujioka Aya
SHIMURA/bros
workshop
1秒の光で世界を作る

Ahn Jun
写真家が教えるキーワード
Creating a Worlds With Words